

令和6年の交通事故死者数は前年比15人減の2,663人

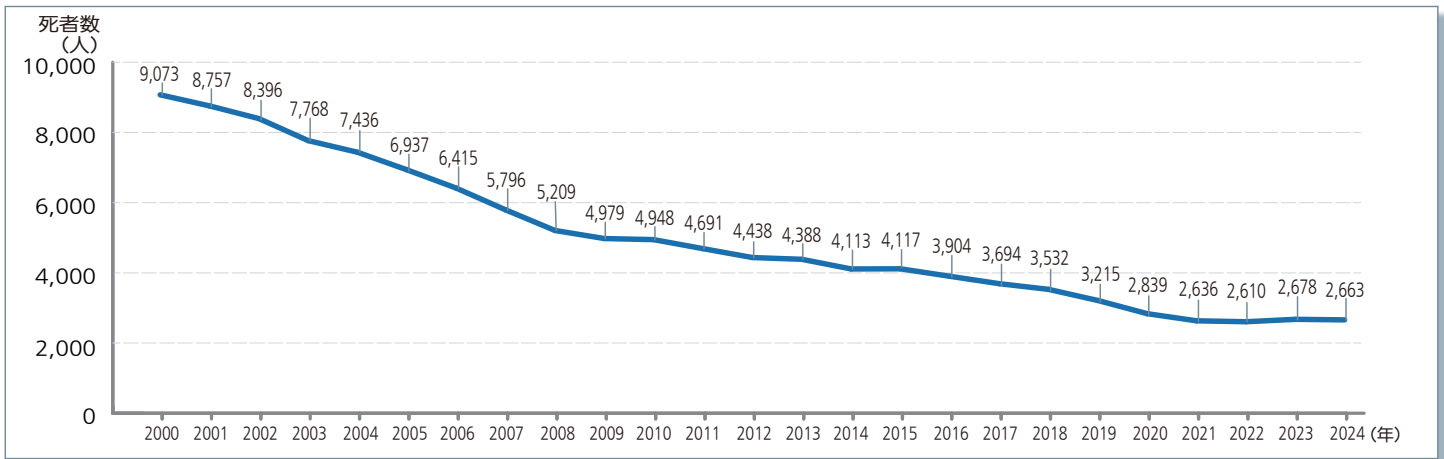
令和6年(2024年)中に発生した交通人身事故(死傷者がいる交通事故)は、全体で290,895件と減少傾向(前年比-5.5%)にあります。交通事故死者数は2,663人と、令和5年(2023年)より15人減少(-0.6%)となりましたが、図1に示したように2020年以降、ほぼ横ばいの状況が続いています。

表1 令和6年中の交通事故状況

	令和6年		
	一般道路	高速道路	全道路
発生件数	284,714件	6,181件	290,895件
死者数	2,524人	139人	2,663人
負傷者数	334,168人	10,227人	344,395人
人口(参考)	124,885,175人		

注1 発生件数は人身事故のみです。
注2 人口は全国市区町村要覧による令和6年1月1日現在の数値を用いています。

図1 交通事故死者数の推移



死傷事故件数が少ない市区町村内でも交通死亡事故が多く発生

それでは全国の市区町村について、一般道路上で起きた交通事故死者数が10人以上の地域を抜粋して、表2に示しました(人口順)。

最も死者数が多い市区町村は広島県福山市の17人、続いて埼玉県川口市、鹿児島県鹿児島市、岡山県倉敷市の14人となっておりますが、死傷事故の発生件数が少ない市区町村でも交通死亡事故が多く発生している場合があります。

表2 交通死亡事故が10人以上発生している市区町村(一般道路)

市区町村	人口(万人)	死傷者数(人)			事故件数(件)	
		死者数	1万人あたりの死者数	死傷者数	死亡事故	死傷事故
東京都大田区	73.4	13	0.18	1,656	13	1,506
埼玉県川口市	60.6	14	0.23	1,291	14	1,155
鹿児島県鹿児島市	59.5	14	0.24	1,384	13	1,255
栃木県宇都宮市	51.6	11	0.21	1,304	11	1,134
岡山県倉敷市	47.6	14	0.29	1,604	14	1,392
広島県福山市	45.8	17	0.37	1,206	17	978
石川県金沢市	44.5	11	0.25	1,019	11	906
宮崎県宮崎市	39.7	11	0.28	1,284	11	1,164
長崎県長崎市	39.6	12	0.30	965	12	795
茨城県水戸市	26.9	11	0.41	947	10	759
茨城県つくば市	25.5	11	0.43	703	10	573
山口県下関市	24.7	11	0.45	552	11	453
静岡県静岡市葵区	24.6	11	0.45	1,410	10	1,196
群馬県伊勢崎市	21.2	10	0.47	1,539	8	1,204
三重県松阪市	15.7	10	0.64	292	9	239
愛媛県今治市	15.0	10	0.67	243	10	222

※人口は全国市区町村要覧による令和6年1月1日現在の数値を用いています。

(人口の多い順)

都道府県別死者数では、東京都(146人)が最も多く、島根県(9人)が最も少ない

参考として、全国の都道府県別死者数を見てみると、表3に示すとおり、東京都146人(前年136人)が最も多く、続いて愛知県141人(前年145人)、千葉県131人(前年127人)という結果となっています。

一方で、島根県9人(前年22人)が最も少なく、唯一の一桁となっています。これに続いて鳥取県が15人(前年14人)となります。

図2 都道府県別死者数

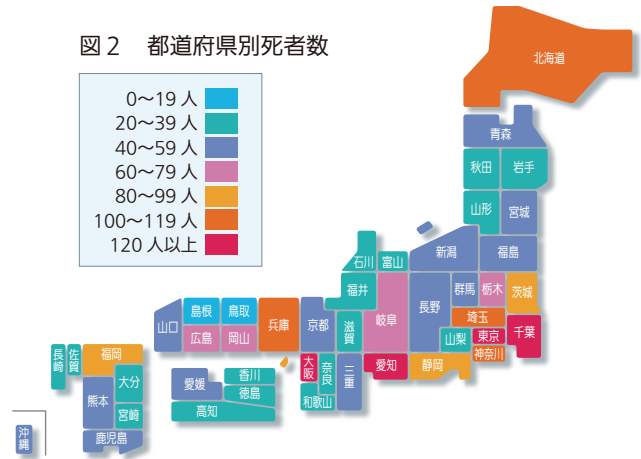


表3 都道府県別交通事故死者数

	人口 (万人)	死者			人口1万人 当たりの死者数	死傷者	(前年)	
		一般道路	高速道路等	死者			死傷者	
全国	12,489	2,663	2,524	139	0.21	347,058	2,678	368,273
北海道	509	104	100	4	0.20	10,401	131	10,732
青森	121	43	43	0	0.36	2,777	45	3,144
岩手	117	28	26	2	0.24	1,728	35	1,831
宮城	224	47	45	2	0.21	4,612	47	4,979
秋田	92	31	30	1	0.34	1,172	32	1,371
山形	103	24	22	2	0.23	2,951	34	3,329
福島	180	51	48	3	0.28	3,789	55	3,458
東京	1,391	146	135	11	0.10	33,397	136	35,006
茨城	287	94	92	2	0.33	7,550	93	7,978
栃木	192	60	57	3	0.31	4,743	59	4,609
群馬	192	49	48	1	0.26	11,244	47	12,424
埼玉	738	113	99	14	0.15	18,786	122	20,343
千葉	631	131	129	2	0.21	15,094	127	16,386
神奈川	921	109	103	6	0.12	24,232	115	25,759
新潟	214	55	54	1	0.26	3,100	55	3,151
山梨	81	28	25	3	0.35	2,467	29	2,624
長野	203	57	52	5	0.28	6,062	42	5,993
静岡	361	88	85	3	0.24	21,968	70	23,643
富山	102	22	21	1	0.22	2,152	31	2,139
石川	111	30	29	1	0.27	2,067	28	2,384
福井	75	23	23	0	0.31	1,123	20	1,153
岐阜	197	70	63	7	0.36	3,553	50	3,856
愛知	750	141	132	9	0.19	28,963	145	29,135

	人口 (万人)	死者			人口1万人 当たりの死者数	死傷者	(前年)	
		一般道路	高速道路等	死者			死傷者	
三重	176	46	43	3	0.26	3,380	66	3,833
滋賀	141	28	28	0	0.20	3,459	43	3,418
京都	249	52	49	3	0.21	4,285	59	4,727
大阪	878	127	120	7	0.14	28,817	148	30,245
兵庫	543	109	99	10	0.20	18,462	103	19,216
奈良	132	23	22	1	0.17	2,970	26	3,191
和歌山	91	34	29	5	0.37	1,499	31	1,619
鳥取	54	15	12	3	0.28	717	14	776
島根	65	9	9	0	0.14	790	22	869
岡山	185	60	60	0	0.32	5,549	49	5,865
広島	275	68	65	3	0.25	5,304	78	5,680
山口	131	51	46	5	0.39	2,586	35	2,734
徳島	71	33	31	2	0.46	2,178	28	2,380
香川	95	31	30	1	0.33	3,610	33	3,745
愛媛	131	52	48	4	0.40	2,323	43	2,358
高知	68	21	21	0	0.31	1,005	23	1,072
福岡	510	91	88	3	0.18	23,697	103	25,802
佐賀	80	24	23	1	0.30	3,447	13	4,050
長崎	129	26	26	0	0.20	3,009	36	3,353
熊本	173	55	54	1	0.32	3,683	37	4,177
大分	111	28	28	0	0.25	2,647	32	2,799
宮崎	106	39	37	2	0.37	3,046	30	3,938
鹿児島	158	53	51	2	0.34	3,233	40	3,388
沖縄	149	44	44	0	0.30	3,431	38	3,611

※人口は全国市町村要覧による令和6年1月1日現在の数値を用いています。

特に人口や人の流れが多い場所は人や車が交錯する場面が増え、交通事故発生リスクも高くなると考えられます。ただし、少ないからと言って油断は大敵です。交通事故要因の多くはヒューマンエラーと言われています。道路を利用する皆さん一人ひとりが、事故を「起こさない。巻き込まれない。」ための行動をお願いします。

交通事故総合分析センターでは、全国市区町村別交通死者数以外にも状態別に分類した情報等をホームページにて提供しております。詳しくは [統計表データ](#) をご参照ください。

なお、統計表データのダウンロードには会員登録(無料)が必要となりますので、予めご了承ください。



公益財団法人
交通事故総合分析センター
Institute for Traffic Accident Research and Data Analysis



<https://www.itarda.or.jp>

●イタルデザインフォメーションに関するお問い合わせ先

✉ koho@itarda.or.jp